

・・・ 新刊本紹介 ・・・

本の名前	書いた人	出版者
るるぶ四国八十八カ所 2011		JTBパブリッシング
出雲古代史・考 須佐之男一族	寺井敏夫	山陰文芸
才輝礼讃 38のyumiyoriな話	松任谷由美	中央公論新社
要説地方自治法	松本英昭	ぎょうせい
三橋貴明の「日本経済」の真実がよくわかる本	三橋貴明	PHP
日本を捨てた男たち フィリピンに生きる「困窮邦人」	水谷竹秀	集英社
すぐ書ける確定申告	須田邦裕	成美堂出版
フリーランス・個人事業の青色申告スタートブック	高橋敏則	ダイヤモンド社
データで見る県勢 2012	矢野恒太記念会	矢野恒太記念会
介護保険の改正早わかりガイド 2012	井戸美枝	日本実業之新社
理科年表 第85冊	国立天文台	丸善出版
境界性パーソナリティ障害の人の気持ちがわかる本	牛島定信	講談社
家庭のおかずのカロリーガイド	香川芳子 竹内富貴子	女子栄養大学出版部
子ども整体	古久沢靖夫	講談社
永谷園生姜部のしょうがスイーツ	永谷園生姜部 大越郷子	日東書院本社
人気料理家18人のおうち女子会レシピ	植松良枝 ほか	主婦と生活社
初めてでも上手にできた！ミニデコロール	下迫綾美	主婦の友社
ウォールカラー・インテリアレッスン	久保田由希 富田千恵子	グラフィック社
人気フローリスト30人の最高の贈り花		世界文化社
犬のモンダイ行動の処方箋	中西典子	緑書房
お金をかけずにスグできる！販促Q&Aノート	亀田憲	同友館
必ず役立つ吹奏楽ハンドブック コンクール編	丸谷明夫	ヤマハミュージックメディア
みんなで盛り上がる飲み会マジック	カズ・カタヤマ	東京堂出版
人生で本当に大切なこと 壁にぶつかっている君たちへ	王貞治 岡田武史	幻冬舎
英語にあきたら多言語を！ ポリグロットの真実	トニー・ラズロ 小栗左多里	アルク
人前で話すのがラクになる！5つの魔法	金光サリィ	ダイヤモンド社
初心者にやさしい韓国語「話す」「聞く」練習帳	鄭惠賢	池田書店
下山の思考	五木寛之	幻冬舎
毎日がいのちのまつり	草場一寿	サンマーク出版
人魚はア・カペラで歌ふ	丸谷オー	文芸春秋
東京暮らし江戸暮らし	平岩弓枝	講談社
隠岐日記 気象マンの手記	三田稔	三田稔
真夜中の手紙	宮本輝	新潮社
ジョン・マン 大洋編	山本一カ	講談社
巴里茫々	北杜夫	新潮社
口紅のとき	角田光代 上田義彦	求竜堂
望月青果店	小手鞠るい	中央公論新社
傷痕	桜庭一樹	講談社
親鸞 激動篇 (上) (下)	五木寛之	講談社
まちがい	辻仁成	集英社
幻影の星	白石一文	文芸春秋
刺客大名 暗殺請負人	森村誠一	幻冬舎
鮫島の貌 新宿鮫短編集	大沢在昌	光文社
スイングアウト・ブラザーズ	石田衣良	光文社
コーヒーブルース	小路幸也	実業之日本社
酒田さ行くさげ 日本橋人情横丁	宇江佐真理	実業之日本社
所轄魂	笹本稜平	徳間書店
あの川のほとりで (上) (下)	ジョン・アーヴィング	新潮社
遅い男	J. M. クッツェー	早川書房
天国からはじまる物語	ガブリエル・ゼヴィン	理論社
冬の眠り	アン・マイクルズ	早川書房
悪い娘の悪戯	マリオ・バルガス＝リョサ	作品社

紹介しているのは1月に入った新刊の一部です。他にもいろいろ入っているのでチェックしてみてください。

図書館にない本が読みたいときには、リクエストをしてください。他の図書館から借りるか、購入してお届けします。

読まんかね

隠岐の島町図書館

2012. 2 Vol. 81

〒685-0014
島根県隠岐郡隠岐の島町西町吉田の二 17-1
tel : 08512-2-2341 fax : 08512-2-9198
http://www.town.okinoshima.shimane.jp/toshoan/
e-mail : s-tosho@mx.miracle.ne.jp



・・・写真クラブ「おき写楽」発足30周年記念写真展・・・

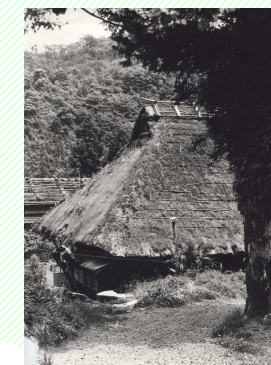
写真クラブ「おき写楽」の皆さんによる作品展です。クラブ発足30周年を記念した写真展で、会員の方々の思いの詰まった作品が多数展示されます。昔の隠岐を撮ったものなど、素敵な作品をぜひご覧ください。



日時 3月9日(金)～11日(日)
10時～18時(最終日は16時まで)

場所 図書館研修室

昔の隠岐の写真も展示します
(写真は昭和46年頃撮影 五箇地区へ移転前の都万目民家)



「おき写楽」は、昭和56年に西郷町公民館定期利用グループとして、“写して楽しむ”をモットーに誕生しました。毎年、公民館文化祭に作品を出展するほか、県展(島根県総合美術展)にも挑戦、入選するなど意欲的な活動を続けています。

・・・休館のお知らせ・・・

図書館は2月13日(月)～20日(月)の期間蔵書点検のため休館します。休館中の本の返却は、入口横の返却ポストをご利用ください(CD・ビデオなどの視聴覚資料は壊れやすいため入れないでください)ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



・利用者用パソコンが新しくなりました・

利用者のパソコン2台が新しくなりました。今までのものより動きが速くなり、インターネットを使っただけの調べ物が快適にできます。
パソコンの利用は1日1回30分までで、ゲーム・メールはできません。何か調べたいことがあるときにご活用ください。使う方はカウンターで申し込みが必要です。



・学校での調べ学習に・

図書館には、島根県立図書館より「学校図書館活用教育図書」として寄託された、小中学校の授業等に使える本が約2,000冊あります。
いろいろな分野の使いやすい本が多くあり、これから授業で本を使おうと思っている先生におすすめです。
場所は事務所の奥にあります。先生・学校司書・ボランティアなどで興味がある方は、「県立の寄託本が見たい」と、気軽に職員まで声をかけてください。

※学校での利用限定で、一般・個人向けには貸出できません。



・中学生職場体験・

1月に養護学校中学部の生徒さんが職場体験に来ました。本の返却や新聞の切り抜き、掃除などいろいろな作業を頑張ってくれました。3日間お疲れ様でした。



・本の寄贈・

11月～1月には、田中明美様、脇立夫様、野津忠宏様、松井典之様、赤路美代江様、ほか10名の方々に寄贈していただきました。
図書館での受け入れ以外にも、病院等での閲覧や、古本市で使わせていただきたいと思っております。ありがとうございます！

開館日カレンダー

色の日 は 休館日

2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4				1	2	3	
5	6	7	8	9	10	11	4	5	6	7	8	9	10
12	13	14	15	16	17	18	11	12	13	14	15	16	17
19	20	21	22	23	24	25	18	19	20	21	22	23	24
26	27	28	29				25	26	27	28	29	30	31

定例行事

- はじめてのえほん
火曜日 10:30～
- おはなしのへや
土曜日 15:00～
- ブックトークの会
2月4日(土)14:00～
3月3日(土)14:00～

蔵書点検による休館
2月13日～20日

3月18日(日)は特別開館いたします。時間は通常通りです。

・・・展示コーナー & 特集コーナー・・・

★展示コーナー

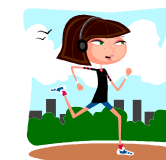
《ちぎり絵展》

西郷ちぎり絵サークル・都万ちぎり絵サークルによる合同作品展です。和紙を使って作られたやわらかなちぎり絵の世界をどうぞご覧ください。

期間 2月12日(日)まで
場所 図書館展示コーナー

★特集コーナー

《免疫力を高めよう》



風邪をひくなど体調を崩しやすい時期です。体の免疫力を高め、寒さに負けない体をつくりましょう。

★えほんコーナー

《ぽっかぽか》

寒いときみんなはどうしてるかな？暖かいものを食べる？コタツにこもる？まだまだ外は寒いけど、あたたかくなるお話読んでみよう。



・・・1月の利用状況報告・・・

	入館者数	貸出人数	貸出冊数	登録者数
23年度	3,865	1,286	6,921	8
22年度	3,776	1,308	6,857	17
比較	89	▲22	64	▲9

・・・1月によく読まれた本ベスト10・・・

- | | | |
|-----------------|------------|--------|
| 1位 さざなみの国 | 勝山海百合 | 新潮社 |
| 1位 平清盛 乱世に挑戦した男 | 岩田慎平 | 新人物往来社 |
| 1位 関根勤の人間観察 | 関根勤 | 日本文芸社 |
| 1位 地下の鳩 | 西加奈子 | 文芸春秋 |
| 1位 だれかの木琴 | 井上荒野 | 幻冬舎 |
| 1位 もういちど生まれる | 浅井リョウ | 幻冬舎 |
| 1位 ギネス世界記録 2012 | クレイグ・グレンディ | 角川マガジズ |
| 1位 かなたの子 | 角田光代 | 文芸春秋 |
| 1位 きれいごと | 大道珠貴 | 文芸春秋 |
| 1位 日本を捨てた男たち | 水谷竹秀 | 集英社 |

・・・今月のオススメの一冊・・・

『神去なあなあ日常』 三浦しをん 著 / 徳間書店



今月は永海が紹介します

高校を卒業したら適当にフリーターで食べていこうと考えていた平野勇氣は、担任と母親の陰謀で神去村(かむさりむら)という林業の盛んな村に放り込まれます。
国の緑の雇用制度に勝手に応募され山仕事の研修生になり、森林組合で山仕事の講義を受け、チェーンソーの使い方を教わりながら脱走するチャンスを狙っていたのですが...
そんな主人公が神去村の人たちとふれあい、真剣に山仕事に打ち込み、「なあなあ」な日常にツッコミをいれつつもその暮らしに馴染んでいく過程がこのお話に描かれています。
主人公が村の人に認められる事になるエピソードや、迫力とスピード感のある神去村の伝統神事の様子がとても胸を熱くする作品です。